



ノーリフティングケア2年目の振り返り ～導入から定着に向けて～



社会福祉法人 飯盛会
地域密着型特別養護老人ホーム
サンガーデン

導入から2年目までの経過

- ・1年目：福祉用具導入・職員への周知と意識づけ
- ・2年目：実践と定着と課題の見直し

2年目の目標

- ・職員教育：継続して技術指導を行い風化を防ぐ
- ・職場改善：気づきシートの在り方を模索する
- ・健康管理：持ち上げ抱えない介助を減らす

施設の概要

【入所定員】（2025年12月1日現在）

入所 29名
短期 10名

平均要介護度 4.11

【職員数】

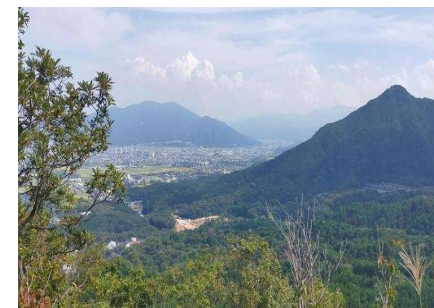
*介護職員 合計： 14名
(内訳 男性：6名 女性：8名)

技能実習生： 1名

特定技能： 1名

*看護師： 3名

*事務職・栄養・ケアマネ： 3名



*飯盛山のふもとで近くには流鏝馬で有名な飯盛神社があります。
周りは四季折々の花が咲き、自然が多いとても静かな環境。

*終の棲家として慣れた環境・職員の中で、**穏やかで自然な看取り介護**を行っています。



<障がい福祉サービス>

ハウス就労支援

ベスト・特定相談

<高齢者福祉サービス>

障がい者支援施設：サンハウス

障がい福祉サービス事業所：サンハウス通所生活介護、サン

サンサンホーム・ひかり・ハー

地域密着型特別養護老人ホーム サンガーデン

具体的な取り組み①福祉用具の活用

- ・リフト・スライディングシートの使用
- ・利用者の状態に応じた用具選定



- ・無理な抱え上げを行わない意識づけ

具体的な取り組み②職員教育

- 定期的な研修会の実施



- 現場でのOJTによる実践指導



- 新人職員へのノーリフティン
グケア説明



具体的な取り組み③環境整備

- 福祉用具の配置場所の見直し

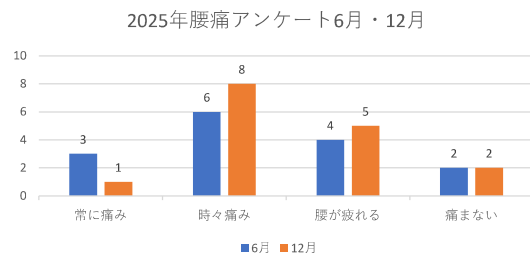
- すぐに使用できる動線づくり



- 用具を使いやすい環境整備

取り組みの結果

- 腰痛を訴える職員は前回と比べ変動が
少ない



* 「時々痛む」と答える人が増えているため、慢性的な痛みから「一時的な痛み」に移行している傾向

- 安全な移乗動作が定着しつつある
- 利用者の表情や安心感の向上

2年目で見えた課題

- 職員ごとの実践に差がある
- 福祉用具への苦手意識が残る
→研修が不十分
- 腰痛の慢性的、一時的な痛みの対策
が出来ていない
→体操が不十分
- 定期的な巡視や気づきシートが十分
に出来ていない

